



秋田県五城目町
朝市と城のある町

みんなの町議会



Contents



- 12月定例会の概要／年始の挨拶 … 2～3
- 常任委員会の焦点 …… 4～5
- 一般質問に7名登壇 …… 6～13
- 議員研修視察 …… 16
- あれ なんとになったべが！ …… 17
- 議会を傍聴しました・がんばってます … 18

馬場目ベース
10周年に響く歌声



2024

あけまして

おめでとうございます

(森山頂上からの雲海)

12月
定例会

議会の経過

12月定例会は12月7日から14日まで8日間の日程で開かれた。

初日 4件の議員研修報告の後、渡邊町長は行政報告で「農地復旧や早期浸水対策として10月11日に、秋田県知事へ要望書を提出、10月23日には、財務省と国土交通省へ激甚災害指定や河川改修事業への財政支援、11月9日には、治水事業促進全国大会に参加し、10日は副町長が災害復旧促進全国大会に出席した。

デフレ対策として、非課税世帯へ7万円、町民一人あたりに5千円の商品券を配布、非課税世帯へ8千円を灯油購入助成として給付する予算を定例会に計上。

住宅復旧支援については、半壊以上の住宅が11月末現在で445棟、このうち187棟の住宅に応急修理支援制度の申請がある。残りの未申請の方にも意向を確認すると同時に申請手続きの支援を行う。

ツキノワグマの出没・目撃件数は11月末現在、100件、捕獲頭数は95頭、人身被害は2件となっている。今後も地元猟友会などと連携し、人身被害が発生しないよう警戒を強めていくと述べた。

2日目～3日目 一般質問には7名が登壇。防災・減災対策、中心市街地の賑わい、疲弊する農家への支援、不登校児の親への支援、間口除雪、雨水管整備、DX推進などの質問が行われた。

3日目～7日目 当局より、廣徳寺橋橋梁災害復旧工事請負契約の締結など17件の議案が上程され、各常任委員会で審査した。

最終日 各常任委員長報告の後、全議案を可決、陳情4件を採択、2件を継続審査、1件を不採択とし、閉会した。

年頭のあいさつ

辰年にふさわしい前進の年に



議長 石川 交三



あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。明けた令和六年が多幸あふれる年となりますよう、祈念するものがございます。昨年は未曾有の大洪水に見舞われ、未だ復旧の途上にあります。耐え難いほどの猛暑がやっと和らいだと感じたころからはクマの出没という異常事態が続きました。温暖化ならぬ沸騰化と言われる時代、人間の身勝手さが地球の機嫌をそねたのかと感じた次第でありました。

丸森中学生の真摯な姿に感涙

議会として、令和元年に大水害に見舞われた宮城県丸森町を研修視察いたしました。役場の周りが海と化し、一か月半に及ぶ断水、土石流の発生や氾濫で犠牲者が出るなど、災害規模の大きさに愕然といたしました。研修会場に着いたら役場と学校関係者の中に丸森中生徒が二人いて「災害募金」をわが町に贈呈するといっています。「五城目町が災害に遭ったと聞き、何かできないかと考え、自分たちで育てて収穫した野菜を売った収益金と丸森町民から寄せられた募金を持ってきました。復興に役立ててください」と、真つすぐに私の目を見て、真剣な顔で生徒さんが言いました。もう一人がブリキの箱に入った募金を手渡してくれました。その純真で尊い行いに胸がいっぱいになり「大切に使用させていただきます」とお礼を言うのが、やっとでした。

七月豪雨では全国から災害ボランティアが駆けつけてくれました。一切の見返りを求めず、車中泊をしての活動展開にはただただ頭の下がる思いであります。辰年は「昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年」で、陰陽五行説によると「植物が成長するように、どんな勢力を増していく年」だそうです。大きく前進する年となるように、祈念して年頭のご挨拶いたします。

(松浦 真)

定例会で可決した
主な補正予算

●(株)あつたか五城目運営費補助金
1,730万円

●オール五城目生活応援商品券事業
4,574万円

●物価高騰対策灯油購入費助成事業
1,336万円

●価格高騰重点支援特別給付金事業
1億1,002万円

●除雪事業
6,320万円

●農林施設災害復旧事業
3億2,770万円

●公共土木施設災害復旧事業
2億7,243万円

指定管理者決まる

施設名 五城目町地域活性化支援センター
指定管理者名 一般社団法人ドチャベンジャーズ
指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日

施設名 五城目町北部地区コミュニティ施設
指定管理者名 新おせど会館運営協議会
指定期間 令和6年4月1日～令和9年3月31日

施設名 五城目町斎場
指定管理者名 協同組合秋田技能社
指定期間 令和6年4月1日～令和9年3月31日

施設名 五城目町農林水産物直売・食材供給施設 悠紀の国五城目
指定管理者名 (株)秋田東北ダイケン
指定期間 令和6年4月1日～令和9年3月31日

施設名 広域五城目林業協業センター 赤倉山荘
指定管理者名 (株)秋田東北ダイケン
指定期間 令和6年4月1日～令和9年3月31日

施設名 五城目町農林水産物直売・食材供給施設 悠紀の国五城目
指定管理者名 (株)秋田東北ダイケン
指定期間 令和6年4月1日～令和9年3月31日

(松浦 真)

7月災害時、3消防本部から救助応援



近隣消防本部との協力体制は万全

委員から、近隣消防本部からの救助応援の状況を問う質疑があり、当局から「秋田県広域消防応援協定に基づき、代表消防機関である秋田市消防本部へボートを運用できる救助隊の派遣要請をし、秋田市から6名、男鹿地区7名、湖東地区4名、合わせて17名の隊員が派遣され、役場に指揮本部を設置し、救助活動を行っていた。救助要請が26件あり、当消防本部7件・男鹿地区消防本部4件・秋田市1件・湖東地区1件という救助件数だった」と経緯を説明する答弁があった。

委員から「町民の命とともに消防署員の命、消防団員の命を守ることも大事だ。このたびの災害を教訓とし、救助などの計画を構築してほしい」と提言があった。

教育民生 常任委員会

(株)あったか五城目に 1,730万円を支援



指定管理者として(株)あったか五城目が経営の五城館

町が2分の1を出資する第3セクター(株)あったか五城目は平成17年の設立以来、空き店舗の解消、各種社会実験やイベントを実施して中心市街地の活性化に寄与してきた。しかし人口減少・コロナ禍・災害・物価高騰などにより経営の面では厳しい状況が続いている。これまでの貢献、予期せぬ社会情勢の変化、今後の展望などを総合的に勘案し借入金1,730万円を町が財政支援するものである。

委員から「旧態依然の経営ではまた同じことになる。町は責任をもって改革案を示すことが必要だ」との厳しい指摘に「様々な見直しをはじめ経営まで積極的に携わっていく」と答弁があった。

また「経営を飲食の専門団体に切り替えるなど思い切った施策が必要では」との質疑に「一つの可能性として捉える」との答弁があった。

総務産業 常任委員会

7月豪雨災害復旧事業

● 農林振興課

農地50ヶ所、農業用施設28ヶ所の災害に係る国の査定が、10月26日から12月8日まで5回実施され、被災額が9億2,345万円に、林道4路線7ヶ所の災害に係る国の査定は、10月24日から10月26日に実施され、被災額が7,604万円にそれぞれ決定した。

しかし現在、令和4年8月の豪雨災害の復旧工事を5年度内完成に向けて進めている状況であり、5年7月の豪雨で被災した農地の復旧工事を発注できる業者を確保できない状況であることから、来春の作付まで復旧が間に合わない農地が一部あると思われる。町では町内外からの業者を確保し、早期復旧に努める。

● 建設課

河川16ヶ所、道路4ヶ所、橋梁1橋に係る国の査定が、9月25日から11月17日まで4回実施され、被災額が11億2,939万円に決定した。今後早期復旧に努めるが、町内業者不足から令和4年8月の豪雨災害の復旧工事に未竣工箇所があり、業者の余力を見極めて発注していく。

廣徳寺橋災害復旧工事は、今年度、被災した橋梁の桁と橋脚の撤去を予定しており、11月27日に入札を行い、(株)菅与組が2億460万円で落札した。工期は令和6年3月15日である。今後、廣徳寺橋は令和6年10月から橋台の撤去、新設を

行い、令和7年10月までに架設工事を終える。

諸々工事の総額は、8億8,379万円となる。

生活支援事業

五城目町価格高騰重点支援特別給付金事業

非課税の世帯に1世帯7万円を給付
対象世帯は1,600世帯
申請期限は令和6年3月15日
財源 地方創生臨時交付金
1億1,002万円

オール五城目生活応援商品券事業

町民1人につき5千円分の商品券を発行(千円券5枚)
対象者は8,150人
利用期間は令和6年3月15日
総事業費
財源 地方創生臨時交付金
一般財源 3,700万円
874万円



(石井 光雅)

防災マップの見直し 完成は令和7年に



町民の命を守る防災マップ

委員から「2年続いた災害で防災マップの見直しが必要では」と質疑があり「現在見直し中である。浸水エリア地域の調査結果がまとも次第、令和7年には表すことができる」と答弁があった。

委員から「今後予定されている防災会議に出された地域住民の視点や専門家の意見が十分反映された防災マップになるよう」と指摘があった。

町民の健康向上のため計画を策定

「健康ごじょうめ21計画」・「五城目町自殺対策計画」の策定にあたり、計画策定委員会を設置することと委員の報酬単価を設定する条例の一部を改正する。

計画策定委員会の構成は、「医師・歯科医師・精神保健士・中央保健所・

警察・社会福祉協議会・民生児童委員・湖東3町商工会・イオン・老人クラブ・食生活改善グループ・結核予防婦人会・スポーツ推進委員会・ゲートキーパー」など15名。

委員から「自殺という表現を自死に置き換えて配慮した県もある。名称

の変更の考えはないか」と質疑があり、当局から「国の大綱に沿って決めたが、今後6年間の計画の中で検討する余地はある」と答弁があった。

(畑澤 洋子)

4度の浸水被害 田町杉ヶ崎地区の対策は

町長 県に相談しながら進めていく

椎名 磯ノ目地区を中心とした内水氾濫対策となる雨水管の整備は、十分な検証が行われなかった対策か。該当する地域への対策の説明・住民との対話の機会を設け、お互いに信頼関係を持ちながら、より良い復旧・復興につなげていくべきではないか。

町長 整備手法が効果的に実施できるよう検証し、雨水排水計画を策定した上で実施していく。素案がまとまり次第、住民に提示する機会を設け、幅広く意見をいただき、意向に沿った計画策定をしたい。

椎名 田町杉ヶ崎地区は農業用水路の氾濫で、これまで4度の浸水被害に見舞われていて、対策は示されていない。どのような方で県との協議に臨むのか。

町長 大型土のうの設置対策、氾濫箇所付近の農地を掘削し

椎名 被災された方々や支援が必要な方々に、有志が食事が配布に回った。健康の悪化が見られた方や、見守りが

誰ひとり取り残さない町に

椎名 被災された方々や支援が必要な方々に、有志が食事が配布に回った。健康の悪化が見られた方や、見守りが

高齡者福祉計画、第9期介護保険事業計画どう進める

椎名 高齡者を対象とした調査で、健康だと感じている割合が高い一方で、幸福だと感じている割合が県内市町村下から2番目の低さであった。この結果をどうとらえているか。

町長 幸福の感じ方は人生観や価値観によって異なるが、社会とのつながりにより、主観的幸福の低下を防ぎ、介護予防につながる前向きな行動がとりやすくなることを考える。主観的幸福と健康感を第9期の最終指標と設定し、各施策、事業に取り組んでいく。

介護予防に努力する高齡者に第9期計画の保険料で、その成果を示すことはできないか。

町長 第8期の3年間で給付額が下がった。コロナ禍によるサービスの利用控えも考えられるが、介護予防の成果の表れとも分析している。第9期の介護保険料は、第8期を下回る想定で計画している。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



椎名 志保

一般質問動画はQRコードから



たびたびの浸水被害に苦しむ田町杉ヶ崎地区

必要な方を包括支援センターや医師につなげ、事無きを得た場面があった。平時から行政の手の届かないところを民間のグループが補完し、地域の見守りを行えないか。

町長 必要な人に支援が行き届くためにはコミュニティナースの存在が重要である。集落支援員制度を活用し、本町の実情に応じた支援体制の仕組みづくりに取り組む。

椎名 地域活動への参加意向がとて高い割合であった。介護予防意識の高さの表れである。この結果をどう活用し、第9期での介護予防を行っていくか。

町長 地域がつながり、支え合い、強みを持ちより新たな価値を創る「共創」が重要となり、高齡者の社会参加で介護予防につなげていきたい。



やる気に満ちあふれる介護予防教室

一般質問

7議員が登壇 我が町政を問う

一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

椎名 志保 議員

- 大雨災害から5ヶ月、防災・減災対策、被災者支援の現状は
- 五城目町高齢者福祉計画、第9期介護保険事業計画について
- 今後のクマ対策は

荒川 滋 議員

- 浸水被害の検証と対策について
- 鳥獣被害防止計画について
- 公共施設等総合管理計画の推進について
- 中心市街地の賑わいづくりについて

佐々木仁茂 議員

- 疲弊する農家の現状に支援と対応を
- 戸村堰の認識について
- 旧五城目小学校跡地に残された石碑について
- 方言を学校教育で活用しよう
- 学校菜園について
- ふるさと五城目会への支援について

畑澤 洋子 議員

- アーバンベア元年からの獣害対策強化について
- 内川川治水対策工事完成までの湯ノ又橋のゴミ対策について
- あったか五城目の財政支援について
- 不登校児の親への支援について

斎藤 晋 議員

- 洪水対策について
- 被災者に対する寄附金について
- 間口除雪について
- 五城館・朝市ふれあい館について

工藤 政彦 議員

- 馬場目川（本町部）堆積土砂について
- 雨水管整備について
- 馬場目川治水対策説明会の実施を
- 幹線道路に視線誘導標（デリネーター）の設置を

松浦 真 議員

- DX推進について
- 豪雨水害検証の具体的な内容は
- 五城目町を通る広域農道の整備について
- 事務事業検証シートについて
- 母子モについて
- 押印廃止について
- 除排雪について

* 誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。



五城目町議会映像配信 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp

意義ある発言機会は大事な議員活動の場といえます。 議会を傍聴してみませんか？

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

- ①役場4階へ上がります。
(エレベーターをご利用ください)
- ②議会事務局前で受け付け。
(受付表に必要事項を記入
検温と手指の消毒剤あります)
- ③階段で傍聴席へ。
(定員40名)
- ④町の方向性を直接聞くことができます。
(開会中はお静かに願います)

※新型コロナウイルスなど感染拡大の防止および、傍聴される皆様の健康を守る観点から、傍聴を自粛いただく場合がございます。お問い合わせ先 議会事務局 018-852-5411

(工藤 政彦)

疲弊する農家の現状に 支援と対応を

町長 県と町の共同で助成を行っている

町長 7月の大雨被害及び高温により農作物に障害があった法人や農家向けの経営再建のために必要な資金の融資枠を設け、資金借り入れに対する利子補給や、パイプハウスなどの農業施設および農業用の機械の修繕費、種子購入費、病害虫防除の薬剤費に対し、県と町の共同での再生産に向けた助成を行っている。



復旧が待たれる被災農地

学校菜園の取り組みは
佐々木 今年、菜園での活動を児童たちはどのような感想を持ったのか。学校は今後、菜園の取り組みをどのように進めていくのか。

**ふるさと五城目会
の支援を**
佐々木 「ふるさと五城目会」は、現役世代の加入が少なく高齢化が進み、会員が減少している。会存続のために支援すべきと思うが、町の考えは。
町長 町としては「ふるさと五城目会」の方々と共にアイディアを出し合いながら会の発展と存続を支援していく。



収穫が終った学校菜園

あなたにかわって

聞きました

一般質問



佐々木仁茂

一般質問動画はQRコードから

佐々木 令和3年米価の下落、令和4年県中央部作況指数94の不良、令和5年県中央部作況指数95のやや不良。さらに追い打ちをかけるように、7月の豪雨災害で被災した農業法人や農家は厳しい現実を突きつけられている。疲弊している法人や農家の現状を、町はどのように捉え、再生産への支援策をどう打ち出すのか。

町長 農地の土砂撤去など杉沢地区で着手している。今後は、来春の作付け前までの復旧が間に合わない農地があると思われることから、施工業者を確保するため、町内業者に加え県など関係機関へ支援を要請し、継続して対応していく。

**被災した農地の
復旧見通しは**
佐々木 7月の豪雨災害で被災した農地の現状復旧工事が進められているが、農家は来春の作付けに間に合うのか心配している。復旧工事の今後の見通しは。

**旧五小の校歌碑移
転スケジュールは**
佐々木 7月の豪雨災害発生後、災害ゴミの仮置き場を視察した際、旧五小の校歌碑が災害ゴミに飲み込まれそうな状況を見て心を痛めた。視察した後日、移転の計画があると聞いたが、今後のスケジュールは。

**クマ捕獲用
箱わなの増設を**
荒川 今年は町で95頭のクマが捕獲される異常な年であった。捕獲用箱わなを増やすべきではないか。
町長 今年度一基追加し6基となった。さらに増やすべきではあるが、管理負担が大きいく猟友会と慎重に協議を進めていく。

**人々がふれ合える
朝市ふれあい館に**
荒川 朝市ふれあい館は高齢者の「居場所」の役割も果たしてきた。ホールからテレビが撤去されたことに伴い利用していた方々は姿を消した。人々がふれ合える場所であるようテレビを再設置すべき。
町長 特定の利用者同士のトラブルが重なり、協力を求めたが理解を得られなかったためテレビは会議室に移動した。居場所づくり・交流の場として気軽に活用される施設であるよう町民の声を反映させた運用方法を模索したい。

住民の声を集め あの日の検証を

町長 町内会などと密に話し合う

町長 消防団との振り返り、県による調査の結果などから情報収集を行いハザードマップとの比較検証を進めている。町内会単位や被災者への聞き取り調査は行っていないため、



検証がなければ改善はない
(五城目橋から上流を望む)

**町公式LINE開設
で情報伝達多重化を**
荒川 防災行政無線に対する不満の声はまだまだ多い。町

町長 今年度、県は著しく土砂の堆積や樹木の繁茂が見られる箇所を重点的に実施し、次年度以降も引き続き行う予定と伺っている。

荒川 災害後、県により行われた馬場目川本町部の土砂撤去は当初、西野橋から湖東老健付近までということであった。まだ土砂が残っていたり、まったく手つかずの区間があるが今後の予定は。



一気に進んだと思った
河川整備だが...

**本町部の川の土砂撤
去はあれで終わりか**
今後町内会などと密な話し合いを重ねる必要がある。

は緊急情報伝達手段の多重化を図っているが、公式LINEも開設しさらなる充実を。
町長 スマホ、ケータイ所有者のLINE利用者は他のSNSと比べ利用率が最も高い。活用事例を参考にメリットデメリットを見極め検討する。

教育長 児童たちからは、初めての体験でワクワクした。朝市販売ではお客さんとのやりとりが楽しかったなどの感想があった。今後、体験活動により、問題解決や探求活動に主体的・創造的・協働的に取り組む教育の場としての活用を図っていく。



気軽にふれ合える場所でありたい朝市ふれあい館

あなたにかわって

聞きました

一般質問



荒川 滋

一般質問動画はQRコードから

荒川 あの日の水の流れを、住民から聞き取って、検証し今後には生かすべきだ。検証がなければ改善はない。

今後は、町民の声を集め、検証を進めたい。

は緊急情報伝達手段の多重化を図っているが、公式LINEも開設しさらなる充実を。

は、現役世代の加入が少なく高齢化が進み、会員が減少している。会存続のために支援すべきと思うが、町の考えは。

五城館・朝市ふれあい館を 町民のために

町長 町民の「居場所」「交流の場」として

町長 五城館は「町の歴史や伝統を次代に継承し、広く交流の場として文化や産業の振興を図り、ゆとりある町民生活の充実に寄与する」を目的に建設。

朝市ふれあい館は「朝市の歴史や文化を次代に継承し、交流の場として文化や産業の振興を図り、中心市街地の活性化に寄与する」を目的に建設。

五城館・朝市ふれあい館は何のために建設したのか



会議や宴会だけの施設ではないはず（五城館）



町民誰もがふれあえる施設に（ふれあい館）

あなたにかわって
聞きました

一般質問



齋藤 晋
一般質問動画はQRコードから

今後、五城館・朝市ふれあい館は町民のために何が出来る施設か

町長 高齢化が約50%に及ぶ当町において、高齢者をはじめ町民の「居場所」づくり、

いきが創出を図るための「交流の場」として一層活用される施設となるよう、施設利用者や朝市来場者、乗合タクシー利用者など、多様な町民の声を反映させた施設運用方法を模索したい。

高齢化に伴い間口除雪の要望は増える

町長 今年度もシルバー人材センターと契約、年度末まで実施する。

11月の町広報誌で周知を含め利用申請書を全戸配布し、申請受付など、実施に向けて作業を進めている。

この事業を通じて、降雪被害を未然に防ぎ安心して暮らせるよう、継続して取り組む事業と考えており、必要に応じて予算を確保し、継続して支援していきたい。

その他に

- 富津内川・内川川・馬場目川の洪水対策の進捗状況は
- 内水氾濫対策は
- 洪水の被災者に対する寄付金の総額は、寄付者は
- 洪水の被災者に対する寄付金は被災者に届いたか
- ふるさと納税の現在額は
- ふるさと納税は洪水被災者の為に使われるかなどを質問した。

職員の狩猟免許取得は 初期対応に重要

町長 今後、検討する



目撃100件、捕獲95件

町長 狩猟免許登録者数は町内26名と町外6名で、職員に免許取得者はいない。狩猟免許取得は他町村と比べてどうか。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



畑澤 洋子
(公明党)
一般質問動画はQRコードから

許・銃購入は県補助と併用すると自己負担がほとんどない。

畑澤 耕作放棄地などの粟や柿に、町の巡回指導や摘果作業に人的支援が必要だ。

町長 職員や町の対策実施隊員が、現地確認し誘因物を指摘しているが、全量摘み取り・伐採に結びついていない。原則として所有者の協力が必要だ。

内川川治水対策工事完成までの湯ノ又橋のゴミ対策を

畑澤 河川移設工事完了までの期間も、「同じ被害は起こらないと確信させてほしい」被災者の心情を理解し、町が「橋だけに関する」意見を聴取する対話をしてほしい。

町長 橋自体が氾濫を引き起こした原因であると説明がなされていない。県の洪水痕跡調査結果を待ち、当該橋・河川構造物、農業施設・山林からの流木流水等を精査し対応する。



改革がせまれる五城館

あったか五城目の1,730万円財政支援に不満も多い

畑澤 コロナ禍以降の商工業経営者や物価高騰にあえぐ町民の理解は得られていない。町と経営団体で新たな経営改革を示してほしい。

自分を責め続ける不登校児の親への支援を

めに助成する。経営の安定化を図り、町中心部の活性化と賑わいの創出に至ると期待している。

畑澤 不登校を経験した子供を持つ親へのアンケート結果（登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク）が公表された。「原因が自分にあるかもと責め続けた」66・7%。「学校以外で安心できる居場所・人とながれる場所を求めている」80・5%。「不登校をきっかけに家計の支出が増えた」90%以上。食費・リースクール会費・通院費・カウンセリング費用が増え、パートの時間が減ったなど、一部自治体で親への独自助成が始まっている。

教育長 不登校児童生徒を抱えるご家庭の経済的負担を軽減するリースクール利用に補助金を支給している自治体はあるが、本町では実施していない。秋田県内や全国自治体の動向を注視していく。

水害検証の中身は

町長 R6前半に「五城目町防災会議」を行う



防災会議での災害検証が重要（五城目橋）

松浦 9月議会でも、検証の重要性について質問した。具体的な検証は多様な参加者が集まれるようワークショップ形式で行うのか、いつ行うかなど町の具体的な考えは。

町長 令和5年度において課題や反省、改善策等の整理を進め、令和6年度には関係者を一堂に会した「五城目町防災会議」を開催し、その検討結果を「五城目町地域防災計画」に反映する。五城目町防災会議の委員構成は、国、県、警察、消防、公共機関、町内会や自主防災組織の代表などを任命、令和6年度内に計画見直しを行う予定。

副町長 全国町村会が示したDX推進十箇条がある。デジタル導入の前にまずは変革を起す必要があり、職員との対話の中で変革を推進していきたい。

建設課長 町民からの通報により、やり直しを指示することがある。その場合、やり直しは無料で対応させている。松浦 GPSロガーによるチェックは行われているのは承知しているが、町は除雪状況に向けたドライブレコーダーの導入による除雪レベルの確認などは行わないのか。

13 五城目町議会だより No. 157

あなたにかわって聞きました

一般質問



松浦 真
一般質問動画はQRコードから

町長 令和5年度において課題や反省、改善策等の整理を進め、令和6年度には関係者を一堂に会した「五城目町防災会議」を開催し、その検討結果を「五城目町地域防災計画」に反映する。五城目町防災会議の委員構成は、国、県、警察、消防、公共機関、町内会や自主防災組織の代表などを任命、令和6年度内に計画見直しを行う予定。

DX推進は
松浦 町の現在のDX推進状況と現時点の課題は何か。
町長 今年度はマイナンバーカードを使って住民票や戸籍などの申請書を簡単に作成できる記帳台「書かない窓口」の導入を進めている。また、現時点ではDX導入のための財源確保が課題。今後はデジタル人材の育成や確保なども課題になってくる。

除排雪が行き届かないとの町民の声に町はどうするのか
建設課長 町民からの通報により、やり直しを指示することがある。その場合、やり直しは無料で対応させている。松浦 GPSロガーによるチェックは行われているのは承知しているが、町は除雪状況に向けたドライブレコーダーの導入による除雪レベルの確認などは行わないのか。

令和6年1月1日

あれで終わったのか 馬場目川の堆積土砂

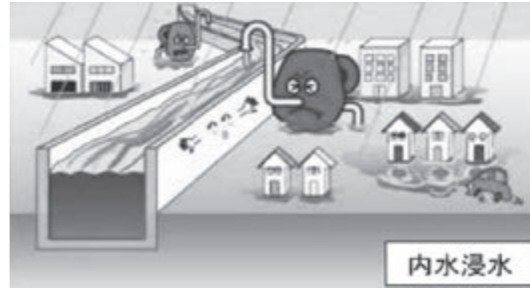
町長 来年度以降も河道掘削、伐木作業を実施予定



取り除きの必要な堆積土砂

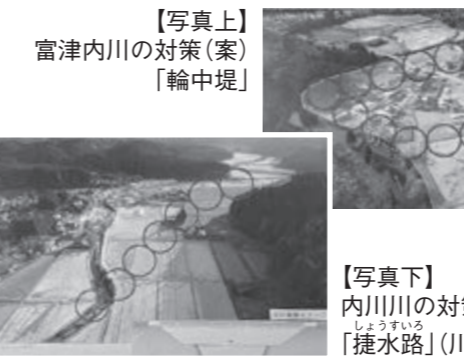
工藤 馬場目川の堆積土砂が本来の河川断面から数十メートルの幅で台地のようにまだ残っている。あれで完了したのか。あの状態で今年7月のような豪雨に耐えられるのか。
町長 県では、今年度に関し著しく土砂が堆積した箇所を除去と、雑木などが繁茂し河川断面を阻害している箇所の伐木、除根を実施したものであり、来年度以降も河道掘削、伐木作業を継続して実施する予定であると伺っている。

町長 「内水浸水想定区域図」策定にあたり、本定例会に補正予算を計上。浸水水量や浸水深を雨水排水計画の事業計画に反映する。



イメージ図

町長 令和5年度において課題や反省、改善策等の整理を進め、令和6年度には関係者を一堂に会した「五城目町防災会議」を開催し、その検討結果を「五城目町地域防災計画」に反映する。



【写真上】富津内川の対策(案)「輪中堤」

【写真下】内川川の対策(案)「捷水路」(川のバイパス)

五城目町議会だより No. 157

あなたにかわって聞きました

一般質問



工藤 政彦
一般質問動画はQRコードから

工藤 磯ノ目地区付近を流れる馬場目川は、馬場目川、富津内川、内川が合流した流量だ。流水断面をしっかりと確保するために堆積した土砂を本来の河川断面まで取り除くことを強く望む。

磯ノ目地区に雨水管整備を早急に

工藤 内水氾濫対策として磯ノ目地区を中心に貯水機能を持った雨水管を整備するとの報道があった。「内水浸水想定区域図」を早期に作成し、早い工事の着工を望む。

幹線道路に視線誘導標(デリネーター)の設置を

工藤 町道上樋口西野線や通称「西野第一農道」の様な町内会や施設から目的地への移動手段とする幹線道路には、夜間や霧、降雨、降雪時などドライバの視線を適切に誘導し、感覚的疲労が少なく快適に運転できるため交通安全に寄与するものと考えられる。
町長 精査し修繕により対応する。今後も同様の箇所についても通行車両の安全確保に努める。

工藤 冬期間中、風雪などで視界が悪くなる路線であるためスノーボールの設置を。

馬場目川治水対策説明会の実施を
工藤 県は「富津内川、内川治水対策事業説明会」を2回に渡り実施している。貴重な意見が交わされる説明会は、より良い方向に進むためにも是非とも必要だ。
町長 県で八郎湖合流点から馬場目平ノ下地区までの区間において、令和5年7月豪雨の洪水痕跡調査及び洪水量評価業務を実施中で対策方針の検討を進めている。今後、一定の方針案が定まった段階で説明会を開催する意向がある。と伺っている。
※左記2枚写真は、県主催の説明会時資料

令和6年1月1日 12

第2回臨時会

令和5年10月30日

10月31日で任期満了を迎える武田和栄副町長の後任に、元まちづくり課長の澤田石清樹氏を充てる選任案に同意、令和5年度一般会計補正予算（第5号）を可決、同補正予算の専決処分など3件を承認した。

副町長の選任案は全会一致で同意。任期は11月1日から4年間。

専決処分を含む補正予算は9億6,566万円で、そのうち7月の記録的大雨で損傷した廣徳寺橋の復旧事業費に4億3,436万円を計上した。

一般会計は累計で96億4,048万円。



第5回 議会議員全員協議会

令和5年11月20日

協議案件

- ・督促手数料の廃止について
町税などを納付期限までに納付しなかった場合に、督促状を発行するが、この督促状1通につき、手数料150円を徴収している。今回、QRコードでの納付なども浸透し、納税者からはタイミングによって、督促金額ありの納付書と、なしの納付書の二重が存在する。そのため、二重納付など必要のない負担を誘発している。督促手数料を廃止するための条例改正などを行う。
- ・株式会社あつたか五城目に対する財政支援について
株式会社あつたか五城目は、まちづくり会社として、町と民間が50%ずつを出し合い、平成17年より運営されてきた。ただ、コロナ禍の影響を受けてここ3年ほどは売上減少の影響が出ていた。現状、借り入れ金返済のほとんどが利益から償還できておらず、運転資金を減少させる原因となっている。そこに、物価高騰が資金不足に拍車をかける悪循環となっており、あつたか五城目に対し、長期借入金返済に限り、支援をしたいと考える。

報告案件

- ・新型コロナウイルス感染症緊急支援対策事業について
- ・災害廃棄物仮置場からの延焼による林野火災の樹木補償などについて
- ・五城目町高齢者福祉計画第9期介護保険事業計画について
- ・廣徳寺橋橋梁災害復旧工事進捗状況及び工程表について
- ・令和5年11月2日発生の神明前町営住宅火災について
- ・生活排水処理事業などの事務を補完する官民出資会社の株主間協定の締結について

陳情と意見書

12月定例会で採択となった陳情は4件、継続審査2件、不採択1件とした。

採 択

◆陳情第9号
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善について国に意見書提出を求める陳情

陳情者
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 奥井 明子

意見書提出先

内閣総理大臣 岸田 文雄様
財務大臣 鈴木 俊一様
厚生労働大臣 武見 敬三様
総務大臣 松本 剛明様

採 択

◆陳情第10号
国民のいのちと健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情

陳情者
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 奥井 明子

採 択

◆陳情第11号
健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情

陳情者
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 奥井 明子

意見書提出先

衆議院議長 額賀福志郎様
参議院議長 尾辻 秀久様
内閣総理大臣 岸田 文雄様
デジタル大臣 河野 太郎様
厚生労働大臣 武見 敬三様
総務大臣 松本 剛明様

採 択

◆陳情第12号
秋田県に対して「子供の医療費助成を中学から高校卒業まで引き上げること」を求める意見書提出の陳情書

陳情者
秋田県社会保障推進協議会
会長 佐藤 幸美

継続審査

◆陳情第13号
あきたこまちRについての陳情書

陳情者
小瀧 隆仁

継続審査

◆陳情第15号
年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

陳情者
小坪 慎也

不採択

◆陳情第14号
辺野古新基地建設の断念と日米地位協定の改定、及び安全保障による米軍基地が必要であるならば全国で平等に負担するよう求める意見書の提出に関する陳情

陳情者
沖縄に応答する会@山形
代表 漆山ひとみ



澤田石副町長 就任のごあいさつ

町政の一端を担うという重責を感じつつ、日々緊張感をもって職務にあたらせてもらいます。

五城目町総合発展計画に掲げている町の将来像「人が輝き、まちが輝き、そして未来が輝く五城目町」を目指し、ふるさと五城目町の明るい未来に向けて、浅学非才ではありますが、誠心誠意取り組む所存でございます。



副町長
澤田石清樹氏
(湯ノ又) 62歳

(松浦 真・工藤 政彦)

議員研修報告

議員のなり手不足をどのように乗り越えるか

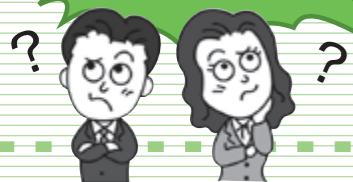
研修名
秋田県町村議会議員研修会
研修日 9月26日
研修先 秋田県市町村会館
参加議員 7名

研修名
南秋田郡町村議会議員大会
研修日 10月26日
研修先 五城館
参加議員 11名

防災に対して議員ができることとは何か

研修名
市町村議会議員研修
第2回「防災と議員の役割」
研修日 11月20日～21日
研修先
全国市町村国際文化研究所
(国際文化アカデミー)
参加議員 伊藤 正春
(工藤 政彦)

あれ



なんとなったべが!

令和4年12月定例会一般質問より

シリーズ ついでき 120

議員研修報告

ふるさと五城目会との交流、丸森町から水害対策を学ぶ

研修名 五城目町議会議員研修
 研修日 11月5日～7日
 研修先 千代田区、丸森町、山元町
 参加議員 議員11名



ふるさと五城目会総会

5日
 第35回ふるさと五城目会総会後の懇親会に参加。
 7月豪雨の水害時に多大な支援をい



五城目町出身の世界王者誕生（1978年8月）

ただいた千代田区の秋谷議長と樋口区長も来賓として出席され、千代田区関係者、五城目町関係者、ふるさと五城目会会員と親睦を深めた。
 町長が水害時への支援に感謝を述べ、姉妹都市としての交流や絆を改めて確認。
 最後に五城目の盆踊りを皆で踊り、ふるさと五城目を愛する人達の気持ちに感動を覚えた。元プロボクサーでWBA世界ジュニアミドル級王者工藤政志さんも参加された。

問

町民の財産である、町有地の有効な活用を早期に実施すべき

1年前の答弁 総務課で管理している普通財産については、要望があり次第、調査・協議のうえ売却や貸し出しをしている。広報やホームページなどを利用して、売却や貸し出しを実施するよう努める。

現在 年度当初より売却や貸し出しが可能な物件を精査していたところ、7月の大雨災害が発生し、その結果として、候補として考えていた物件についても再度検討が必要との判断に至っている。この後、限られた財産のうち、被災範囲を考慮した物件選定を進めていく。

問

町中心部の大型空き物件の利活用を

1年前の答弁 進出の可能性のある事業者を紹介している。今後中心部の空洞化の解消と企業の進出につながるよう努める。

現在 中心部の空洞化の解消と企業の進出につながるよう、引き続き事業者への紹介に努める。

6日

早朝に宮城県丸森町へ移動し、丸森町役場を訪問する。
 その際に、丸森中学校の有志生徒が、五城目町の水害被災状況を知り、自主的に自分たちで育てた野菜などを販売し募金を集め、今回の視察に合わせて五城目町への寄付を行ってくれた。
 この温かい想いに議長をはじめ、議員一同感謝の気持ちを述べた。
 その後は、令和元年の台風19号による丸森町の水害、その後の復旧状況について役場職員の方々から説明を受けた。
 その被害の大きさに愕然としながらも、きめ細かい対応を行う職員の体制



丸森中学生有志生徒による寄付

問

流雪溝の設備と組織存続に向けた施策は

1年前の答弁 長期的視野で見た際の体制維持が不透明であると伺っている。組合と綿密な協議をして存続に努めていく。

現在 現在、流雪溝設備については稼働に支障が確認されていないが、定期的な点検に努めている。
 流雪溝利用組合の体制維持については、組合総会のなかで組合員の高齢化や人口減少に伴い、組合の運営が大変困難となっているため、人材確保の一案として一般社団法人五城目町シルバー人材センターの活用について模索、検討している。



7日
 宮城県山元町の震災遺構・旧中浜小学校の見学。児童ら90人が屋上へ避難し助かった校舎を通じ、震災の教訓を学んだ。
 や外部人材を活用しながらの土木復旧工事を当町の復興にも活かしたい。



被災箇所視察（丸森町）



震災遺構を見学（山元町）

（松浦 真）

（斎藤 晋）



議会を傍聴しました

何事もきっかけ一つ。 気軽に議会を知ることから



東谷 拓馬さん
(奈良県)

JICA海外協力隊実習生として10月から約2ヶ月半、五城目町に滞在させていただいております。

今回、知り合いのお誘いで初めて議会を傍聴させていただきました。恥ずかしながら、私の町の町議会も傍聴したことがなく、全くの初心者でした。

まず傍聴席に入って感じたことは、想像以上に傍聴者がいたことです。議会の勝手なイメージですが、傍聴者がいない中で進行されているものだと思っていました。

私は金曜日の午前中に伺い、その時は10数名だったかと思いますが、まちづくりに関する意思決定がどのように行わ

れているのか、傍聴されている皆さんがメモを取って真剣に聴いておられていたことが特に印象に残っています。

一方で、私の町はそんな意欲的な人はいないかもしれないとも思いました。私の町は

どのような議会が開かれて

いるのか興味を持つことがで

きました。ただ傍聴者はい

たものの、平日の日中というこ

ともあり、これから町の将来

を担っていく若年層の参加は

ありませんでした。学生は探

究や総合学習の一環として、

行政や民間企業勤務の方は若

手職員の研修の一環として参

加を促してもよいかもしれま

(松浦 真)

がんばってます

仲間を大切に



五城目第一中学校
生徒会長

伊藤 □□さん

真新しい制服に身を包み、木の温もりに包まれた校舎に新鮮な気持ちで足を踏み入れてから、あつという間に中学校生活は折り返しを迎えました。

毎日の授業では、知らないことを学ぶ楽しさよりも理解する努力の必要性を実感しました。そして、放課後の部活動では理想の自分と現実の自分との狭間に揺らぎました。「五徳修練」背中の襷に刻まれたこの言葉のように鍛錬を重ねていきたいと思います。

先輩方からバトンを受け継ぎ、私は生徒会長になりました。生徒会長としての最初の活動は、「小中合同のあいさつ運動」でした。少し冷たい朝の空気は澄んでいて、交わす挨拶が響き渡る爽やかな時間となりました。また、「子ども人権デーの集い」では歓迎の言葉を述べました。こうして生徒会活動を経験することで私自身、生徒会長としての責任を自覚し、何かを成し

遂げるには一人ではなく仲間存在や支えの大切さに改めて気付かされました。今年の春からコロナが5類に変わり、日常に賑わいが戻ってきました。学校行事や部活動も人数制限のない活動が出来るようになってきました。

新しい日常、新しい学校生活へと時代の流れが変わりつつあります。そんな中、水害が起きました。家族や地域が一体となり、復興のために尽力しました。この経験で私たちが学んだことは、どんな困難な生活の中でも人とのつながりが支えになることです。

私たち五中生は仲間の存在で成り立っています。学年の垣根を越えて、協力し合い、一つのチームでありたいです。

仲間を大切に、これからもチャレンジしていきたいと思っています。

かけがえのない仲間たち



(工藤 政彦)

編集

後記



あけましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は未曾有の大水害を受け、被災された皆様への「やるせない」気持ちが痛いほど伝わる悲しみの多い年だったと感じています。

そんな中、復旧へ向けての作業などに全国様々な方からの思いやりの心あふれる支援には感謝の念に耐えません。

思いやりの心は、他人の喜びや心の痛みなどをその人の身になって感じたり考えたりする豊かな人間性の表れであり、自分の心にとりがなければ他人を思いやる気持ちは持てないと思っております。

皆様豊かな心で過ごせるように、我々も頑張ります。

議会広報誌は今後も紙面の充実を努めてまいりますので、一層のご愛読をお願いいたします。

議会広報編集副委員長

工藤 政彦 記

